

本翻訳はロシア NIS 貿易会監修による仮訳である。

ウズベキスタン大統領ウェブサイト(<https://president.uz/ru/lists/view/5774>)

掲載の露文資料に基づく。

オリー・マジリス（ウズベキスタン議会）およびウズベキスタン国民に向けた
シャフカト・ミルジヨエフ・ウズベキスタン共和国大統領教書演説
(2022年12月20日)

親愛なる同胞の皆様！

尊敬する上院および下院議員の皆様！

尊敬するご来賓の皆様！

ウズベキスタンは新たな発展段階へと着実に歩を進めつつあります。我が国の生活のあらゆる場面で巨大な変化が起こっております。

今年、我が国の人口は3,600万人を超えました。毎年新たにほぼ90万人ずつ人口が増えており、我々にとっては、もちろん、喜ばしい限りです。

我々は、我々の仲睦まじい大家族－ウズベキスタンで誰もが平和に、つつがなく暮らせるよう、あらゆる必要な環境を整えるべく最善を尽くしております。

過ぎ行く2022年はきわめて困難な年であり、我々は多くの苦難を乗り越えなければなりません。この間に我々が味わった経験は一つの真実を明確に裏付けるものであります。それは「**粘り強い、献身的な労働のみが進歩をもたらす**」ということです。

世界的なパンデミックや、経済的、政治的危機と矛盾にもかかわらず、我が国の国民が英雄的な労働によって成果を達成したことを指摘したいと思います。

大規模で、効率的な改革のおかげで、我が国の国内総生産は初めて800億ドルを超えました。

今年だけで我が国経済には80億ドルの直接外国投資があり、輸出額は190億ドルに達しました。

このような高い数値は今まで記録したことはありませんでした。

今年、我が国の歴史上初めて、年金と社会福祉手当を、最低消費支出を超える水準まで引き上げました。例えば、2017年に社会扶助を受けた低所得層は50万世帯でしたが、今日にはすでに200万世帯を超えています。支出額は7倍に増え、年間11兆スムに達しました。

我々は、国民の給料、年金、手当、一人当たりの収入の増額に向けた政策を一貫して続けていきます。

これを言葉で言うのはたやすいことです。しかし、一つ一つの数字の陰には人々の倦むことのない労苦があります。したがって、我々が気にかけている最も重要な問題は人々の利益の保障であり、誇りや尊厳に対する敬意です。

こうした目的のために、最近の6年間において国内で約30万戸のマンションや一戸建て住宅を建設したが、これはそれ以前の数年間の10倍に相当します。

この期間に、学校では教室を約50万人分拡張し、その結果、530万人を受け入れられるようになりました。現在、さらに120万人分拡張するべく急ピッチで作業を続けております。

住民の健康をしっかりと保護するために、最も遠く離れた地域やマハリヤ（地区共同体）にもあらゆる種類の医療サービスを提供しています。

我が国の国民が職業を身に付け、自分の事業を興したり、資産保有者になったり、収入を得たりできるようにするために、必要な環境を整備しています。

今年、381名のウズベキスタンのスポーツ選手が世界やアジア・レベルの競技会で、また、43名の才能ある若者たちが権威ある科学オリンピックやコンクールで入賞を果たしたことは、我々にとっては、言うまでもなく、嬉しい出来事です。

我が国の尊敬すべき父母たちの祝福が我々にさらなる力とエネルギーを授けてくれます。

今日、ウズベキスタンは世界政治の中心の一つになりつつあり、そのことは国際社会で広く認知されております。

我が国では、上海協力機構やテュルク諸国機構のサミットを始め、我が国が主導権を発揮した何十ものハイレベルな国際会議が開催されました。このこともウズベキスタンの国際的な権威が高まりつつあることを証明するものであります。

我が国がこれほどの成功をおさめたことに対して、自らの献身的な働きによって素晴らしい貢献を果たした国民の一人ひとりに感謝いたします。

世界の科学、文化、スポーツの舞台で祖国の旗を高々と掲げる目的意識を持った若者たちの新たな勝利を願います。若者たちは我々の栄光であり、誇りであります。

我が国の国境の不可侵と平和な生活を堅固に守ってくれる祖国の守護者たちのご多幸をお祈りいたします。

親愛なる退役軍人、尊敬する女性、企業家、農場主の皆様には深い敬意を表します。

我が国が進めている改革を支持してくださり、本日の会議にご臨席いただいている我が国の外国パートナーと外交団代表の皆様には心から感謝申し上げます。

過去数年間における我々の業績は、言うまでもなく、新しいウズベキスタンの建設途上における最初の成果にすぎません。我が国の建設者たる国民とともに、我々はこの崇高な仕事を継続し、必ずや、我々の偉大な目的を達成いたします。

尊敬する同胞の皆様、親愛なるご来賓の皆様！

我々全員が、今日、人類がきわめて困難な時代を生きていることの証人であります。地球における気候の激しい変動、水やその他の天然資源の枯渇の問題は深刻な課題であります。国際関係における信頼の欠如、矛盾と紛争の拡大は安定と発展にとって脅威になっています。

残念ながら、我々もこの問題と無縁ではられません。

今年の夏にカラカルパクスタンで発生した事件に際しては、我々の同胞の誰もが心を痛めずにはおられませんでした。我が多民族国家の国民ならではの賢明さのおかげで、事態は急速に正常化しました。

我々の戦略「**カラカルパクスタンの成果は全ウズベキスタンの成果であり、カラカルパクスタンの懸念とニーズは全ウズベキスタンの懸念**」は今後、我々の実践的な行動プログラムとなります。

我々の最も重要な目的は、新しいウズベキスタンに全面的に発展し、整備され、繁栄した新しいカラカルパクスタンを共同で建設することです。

いかなる力も我々を引き離すことはできません。我々は何世紀にもわたって、血のつながった兄弟のように共に暮らしてきたのです。我々には共通の過去、現在と未来があります。

我々は愛する祖国の安全と領土の一体性を確保することができます。国内における平和で穏やかな生活を維持し、その独立性を強めながら、持続可能な発展への道を急速なテンポで進み続けてまいります。

親愛なる友人の皆様！

今日、世界はかつてないほど急激に変化しております。国民の豊かさが向上するにつれて、国民のニーズも高まっています。

国の発展を新たな段階に引き上げるためには、行政機構も、法律も、我々の社会も変えなければなりません。もし我々がこれをやらなければ、もし我々が明らかな問題に気がつかなければ、生活からも進歩からもとり残されてしまうでしょう。

したがって、「**まず人間、その後社会と国家**」という原則を、憲法や法律にも、我々の日常生活にも、深く根付かせなければなりません。我々は今日の厳しい試練や、予測しがたい課題や脅威を効率的に克服しうる民族国家の基本原則をより一層強固なものにする必要があります。

このことを考慮しながら、基本法の改正作業が続けられております。我が国の国民は憲法改革による大きな変化を期待しております。それを明確に裏付けるのが現時点で22万件を超える提案であります。

広汎な審議や討論が続けられています。我々は議員の皆さんや各政党がこのプロセスに責任感を持って積極的に関わり、一つ一つの提案を注意深く検討していることを存じております。これについて皆さんに感謝申し上げます。

我々は、「**社会は改革の主導者である**」という原則に立脚しつつ、あらゆる問題について国民と相談しながら、決定を下していくつもりです。

我々は人間の利益を保障し、その誇りと尊厳を至高の価値として敬意を払うという目的に貫かれた現代的な憲法を、新しいウズベキスタン建設の課題に全面的に対応し未来の世代に奉仕する基本法を策定しなければなりません。

国民の皆様から寄せられたすべての提案や要望はもれなく検討され、憲法草案は国民投票に付されます。

最も重要なことは、我が国の同胞の一人ひとりが、結果的に「**これが私の憲法だ**」と誇らしげに宣言できるように、進行中の憲法改革に自らも関わっていると感ずることです。

親愛なる同胞の皆様！

来年度に関する具体的な計画を策定するために我々は各分野についての国民の意見を徹底的に調査し、約2万件の提案を検討しました。

そこでは教育、保健、経済に関するきわめて重要な問題が提起され、また、それらの体系的な解決策の提案もありました。

新しい学校、幼稚園、病院の建設、教育や医療の質の向上、飲料水や電力、道路や交通に関する地域の問題の解決、雇用の増加、新たなビジネス機会の創出、公平性の確保、繁文縟礼、官僚主義や汚職の根絶一人々が我々に期待しているのはそういった問題です。

提起された問題は明確で、切実なものです。それがいかに困難な問題であろうと、我々が解決しなければなりません。我々の問題は我々以外の誰も代わって解決してくれないからです。国民が積極性、エネルギーやポテンシャルをできる限り効果的に発揮するための、あらゆる条件を整えることが主要な課題になります。

我々が国民のためにより多くの可能性を創出すればするほど、我々の社会に還元されるものがより多くなります。

したがって、来るべき新しい「**2023年を我が国では人間への配慮と質の高い教育の年**」と名付けることを提案いたします。

我々が新しい年をそのように命名するのはなぜでしょうか？

ご承知のように、ウズベキスタンで行われている国家政策の優先課題は人間への配慮とその利益の保障です。言うまでもなく、この政策は1年に限定されるものではなく、一貫して続けられていきます。

確かに、最も貴重な我々の財産は、人間であり、我々の建設者たる国民たるであり、尊敬する退役軍人であり、若い世代であります。

我が国における一人ひとりの生活が平和で幸福なものであり、各人が健康で、優れた教育を受け、自分の家族に豊かさをもたらすことができるように、我々は常にあらゆることを行っていく所存です。

教育の質の向上は新しいウズベキスタン発展の唯一正しい道であります。

有名な詩人で、思想家のユスフ・ハス・ハジブが次のように語っています：

「知性あるところに偉大さあり、

知識を得れば、名誉も得る」

このような目的を達成するために、我々が始めたこの分野における改革を続行し、教師や指導者の皆さんと頻繁にお会いして、直面している問題を共に解決し、教育・育成プロセスの質の向上に関するアイデアの実現を促さなければなりません。

我々は国民の皆さんが提起したすべての問題を来年の国家プログラムに盛り込み、それらを解決する具体的な方法も提示いたします。下院議員、上院議員、マハリヤの代表者、知識人、若者たち、企業家、広範な一般市民の皆さんに、このプロセスに積極的に参加し、新たな取り組みを提案するようお願いいたします。

尊敬する下院議員、上院議員の皆様！

2023年の優先事項について述べさせていただきます。

第1の分野。コンパクトで効率的な国家行政機構に移行することを提案いたします。なぜ私はこの問題に注目するのでしょうか？

最近の6年間に我々は、以前は我々の視野の外にあり、事実上、存亡の危機にあった分野を「振興させる」ために新しい省庁を作らざるを得ませんでした。そうするよりほかなかったのです。そうしなければ、現在の成功はあり得ませんでした。

我々は就学前教育、住宅・公共事業、マハリヤ、投資、国家サービス、官民パートナーシップの分野で多大な成果を達成することができました。民間部門や企業活動は後戻りすることのない発展を迎えています。最新の技術や職業を習得しようとする国民の欲求、積極性が高まっています。我が国の経済では、日々、新しい分野や部門が誕生しています。

民間主導の機会をさらに拡大し、新たな展望を切り開くために、いわゆる「手動の」運営から、具体的な成果に狙いを定めた体系的な運営へと転換する時機が到来しました。現在、国家機関には多くの重複があり、人員が肥大化し、中央集権度が高いことを率直に認めざるを得ません。その結果、現在では難しい問題の解決策を探るためにあまりにも多くの時間、労力、リソースが費やされています。

大臣たちは、政府の決定を採択する際に、このような表現が可能であれば、自分の言葉を持っていません。

つまり、こうした決定案の策定や採択に対する自らの関与も、責任も不十分です。これからは、大臣たちは昔のやり方で仕事をすることはできません。

もし、大臣が自分の分野における明確な戦略的アプローチを持っていなければ、その活動は人々の問題を軽減することはできません。このような指導者にどのような利点があるのでしょうか？

私が新しい行政改革に関する大統領令に署名したのはそのためでした。我々はこのためにずいぶん前から準備してきました。

第一段階では省庁が改革され、政府の仕事のスタイルが劇的に変化するでしょう。

まず、省庁の数が現在の61から28に削減されます。こうして、各省は関連分野の国家政策の実現に責任を負い、その分野の委員会、局、監督機関の指導を行うことになります。

改革の過程で多くの大臣が交代するでしょう。そのポストにとどまれるのは、自分の分野について熟知し、献身的に業務を行い、国民の支持を得た者だけです。このようなアプローチは公正であると考えます。

国家公務員の人数は段階的に30~35%削減され、節約された財源は社会問題の解決に当てられます。

各大臣の政治的地位が向上するとともに、大統領、議会、公衆への報告義務も強められ、その責任も重くなります。大臣には国民の問題を解決するための十分な権限と財源が付与されます。

省の活動の主要な評価基準となるのは、公開性、合法性、効率と質であります。

我々は汚職についてよく話しますが、大臣たちが自分たちのシステム内で汚職を許してしまった事実について責任を問われないのはなぜでしょうか？ 今後、大臣たちに対する要求は変わっていくでしょう。各大臣は何よりも割り当てられた資金の効率的、かつ目的に合った活用に責任を負います。

国家権力機関の代表者は誠実な仕事ぶり、国民に対する配慮、謙虚さ、誠意、献身の精神によって人々の信頼と尊敬を勝ち得なければなりません。

今後は、大臣たちの政治的責任が強まり、政府決定や、国の行く末に係わる社会経済問題についての重要な決定の採択は大臣たちが直接参加して、合議制で行われるようになるでしょう。

各地域での問題を解決するために、現地視察を伴う「政府の日」を毎月開催する慣行を導入します。

毎年、初頭に大臣は国民に対して自分の分野の発展計画を発表し、年末にはその遂行状況を報告することになります。こうして、各大臣は自らの業務に対処できなければ、退任することになります。

これと関連して、私は議員の皆さんともう一点、考えを共有したいと思います。

最近の数年間に、我々はオリ・マジリス（ウズベキスタン議会）に多くの権限を付与しましたが、さらにそれを拡大することを計画しています。議員は新しい大臣の任命に参加し、候補者の公約に目を通し、それを承認します。しかし、その後、残念ながら、議員たちは大臣の活動を批判することに終始しております。

ご存じのように、議会の両院には専門分野別の委員会があります。実際に、各委員会は、どの分野で、またはどの地域で業務が停滞しているか、どのような欠陥に対して直接現地で作業し、住民と共に解決策を見出すべきかについて、大臣に示すべきです。

したがって、大臣の活動を効率的に組織することについて、専門分野別委員会、議員の共同責任を定めることは正しいと考えます。

もちろん、批判も必要です。しかし、現在、議員に付与されている大きな権限と能力は生産的に行使されるべきです。

私も長年にわたって、議員を務めましたが、その当時は、議会で報告する大臣を見ることは稀でした。今

は、状況が一変しております。したがって、我々一人ひとりが、この国の命運を担っているという自覚を持って、国民の幸福のために力を合わせる事が何よりも大切なのです。

議会の活動方法の改善や効率の向上についても我が国の憲法に記されるべきだと思います。

来年から始まる行政改革の第二段階では、地域における行政機構の変革が行われます。

行政改革の枠内でのすべての新しい取り組みは必ず我が国の憲法に明記されなければなりません。これについては、皆さんが私を支持して下さると考えております。

今年、我々は新しい法律「国家公務員について」を採択しました。今後は、官職への採用は、競争原理によってのみ行われます。すべての責任者の職務は最も重要な効率指標によって評価されることになります。

毎年、500名の専門家が外国の名門大学やセンターで研修を受けることになります。

今後2年間に、各地区や各市のホキミヤート（ウズベキスタンの地方行政機関）に、自分の業務に精通し、経験も豊富で、共和国の官庁で上級職を務めた人材が登用されます。

新年から、各ホキム（市長・区長）は自分の地区に4,000万～5000万ドルの民間投資を誘致することが義務づけられます。

大臣は国家の資金を使うだけでなく、自ら率先して民間投資を呼び込むことになります。例えば、官民パートナーシップの導入によって、農業、水利事業、林業、交通分野に年間10億ドルまで誘致することが可能になります。

行政改革の一環としてもう一つの重要な取り組みを進めたいと思います。

現在、中央アジアには100万人以上の人口を擁する都市が7つあります。国内の各地域では、首都とともに、他の大都市も「成長ポイント」になりつつあります。その中にサマルカンドやナマンガンがあります。いずれも人口が100万人に近づきつつあり、大規模な建設事業が進められております。

近年、サマルカンドはますますメガポリス、観光とビジネスの国際センターへと変貌を遂げつつあります。ナマンガンも同様に工業、ビジネス、教育、文化の地域センターになりました。したがって、サマルカンド市とナマンガン市を個別の行政地区単位として区分し、共和国直属市としての地位を付与することを提案いたします。これは我が国の美しい首都であるタシケントと並んで、国内に魅力的なセンターの数を増やそうと我々が始めた政策の実現における新たな実践的一步となるでしょう。住民の所得や雇用数の増加にも拍車がかかるでしょう。それにより二つの地域における各地区の発展により多くの関心が寄せられることになります。それは、言うまでもなく、公正なことであります。

こうして、これらの州のホキムは、大都市だけでなく、各地区でも条件の改善について配慮することが求められます。

これらの二つの都市の発展プログラムの立案と承認は閣僚会議に委ねられており、その執行の監督は首相に委ねられています。

第2の分野。我々は「社会福祉国家」の原則にもとづいて、新しいウズベキスタンを建設する目的を自らに課しております。これは憲法に明記しなければなりません。

社会福祉国家とは、何よりもまず人々に自らの可能性を実現するための平等な機会と、充実した生活を送り、貧困を減らすために必要な条件を整えることを意味します。

そのため、我々は第一に、教育への支援—新しいウズベキスタンにおいて最も重要な投資に注意を払います。

「繁栄への鍵は教育、育成、知識にある。なぜなら、あらゆる良い目的は知識と教育によって達成され

るからである」我々の祖先にして啓蒙家であるジャディードたちのこれらの言葉は下院議員、上院議員、政党、地方のケンガシュ（議会）、あらゆる国家機関と世論にとっての実践的な指針にならなければなりません。したがって、2023年における我々の主要課題の一つは学校教育の質と社会における教師の権威の向上、教師の労働と生活の条件の改善であります。

憲法に教師の地位、その誇りと尊厳の保護の保証について明記すべき時機が到来したと考えます。

来年から低学年クラスの授業は新しい教授法にもとづいて作成された教科書で行われます。現在、教科書は国際的な審査を通過し、承認を受けているところです。しかし、高学年についてはどうなるか？教育や育成の質、教師や講師の知識や技能が要求されるレベルに対応していないことを認めざるを得ません。

我が国の子供たちは学校において母国語と外国語をしっかりと習得し、コンピュータを使えるようにならなければなりません。子供たちの職業、文化や芸術に対する関心を高める必要があります。

生徒たちには自由で創造的な思考、集団の一員として働く能力やコミュニケーションの技能を身に付けなければなりません。まさにこうした雰囲気が学校には必要なのです。

こうした考えに沿って、「大統領学校」には世界130カ国で承認された教育プログラム「A-Level」が導入され、すでに成果を上げています。こうして、それぞれの生徒は能力に応じて具体的な分野をより深く学び、世界最良の大学に進学する可能性が広がっています。

これと関連して、2023年から国際的な教育プログラムにもとづいて学校教育の抜本的な改革に着手します。業務を体系的に組織して、新しい教科書を作成し、先進的な教育規格や教授法を導入するための科学研究所とラボラトリーが特に創設されます。民族的自覚と我々の精神性の基盤である我が国の母国語により大きな関心を払います。

現在行われている国の開放政策、外国投資の流入と新しい企業の増加は若者たちが最新の知識や外国語を習得する意欲を掻き立てるものとなっています。それだからこそ、高い技能を持った外国人講師を学校に招聘する必要があるのです。

この機会に、我が国の学校教師の皆さんに申し上げたい：子供たちが在学中に外国語をしっかりと習得し、職能やコンピュータの技能を身に付けたとしたら、我々の社会がどのようなものになるか、想像してみてください。

新しいウズベキスタンではまさにこうした点に学校職員の責任が明確に現れていなければなりません。親愛なる教師、指導者の皆さん、私は皆さんが誇りを持ってこの重要な任務を遂行してくださるものと確信しております。

来年には新しい学校が70校建設され、460校が拡張されます。民間投資の資金で建設される100校の工事が開始されます。今後5年間でこのような学校の数はいくらにも増えます。

今年からカラカルパクスタンとホレズムでは28万5,000名の低学年の生徒たちのために給食が無料で提供されています。この問題では我々は十分な経験を積んできました。来年度からはこのような業務は他の州やタシケントでも導入されます。この事業には2兆3,000億スムが拠出されます。透明なシステムにもとづいてすべてのプロセスを整備し、子供たちへの健康的で質の高い食事を提供することに直接責任を負っているのは国民教育大臣です。

教育分野における次の重要な方向性は若者が最先端の職能を身に付けるための条件を整備することです。

現在、卒業生の50%が何ら専門的な技術を持たないまま、労働市場に出ていきます。我々はこの問題に頭を悩ませなければなりません。700校以上もの職業専門学校、カレッジ、中等技術学校の能力を効果的に活用する必要があります。

このような目的に沿って、2023年から新しいプログラムが実施されます。各地域の1校の中等技術学校で欧州の教育規格が導入されます。今後5年間ですべてのカレッジや中等技術専門学校にこのようなシステムが導入されます。

これと並んで、我々は才能ある若者たちへの支援を拡充していきます。化学工業、電子工学、交通、エネルギー産業分野の権威ある国際機関と共同で、特別工業学校が設立されます。こうして我々は新しいタイプのエンジニア養成システムを立ち上げます。

現在、幼稚園には約200万人の男児・女児が通っています。我々がこれを達成したのは、最近の6年間で、就学前教育を受けられる子供たちを27%から70%に増やした結果によるものです。最近、タシケントで開催されたユネスコの幼児保育・教育世界会議で我々の改革が高く評価されたことをご報告しておきます。

今後の5年間で80%の就園率を達成するには、幼稚園施設を新たに60万人分拡張する必要があります。これはかなり高い数値です。そのため、幼稚園数増加および保育・教育の質の抜本的向上5カ年プログラムが採択されることになっています。幼稚園の就園率向上のために民間部門の補足的な条件が整備される予定です。

最近の数年間で、国内の大学数は198校と2.5倍に増加し、高等教育機関への進学率は9%から38%に上昇しました。

我々はこの指標をさらに向上させる目的を自らに課しています。しかし、教育の質はどうなるのでしょうか？ 我々すべてがこの問題を気かけなければなりません。何よりもまず大学が自らこの問題に取り組む必要があります。そうすれば結果もついてくるでしょう。

すでに41校の大学が学術的・財政的に独立し、それぞれに変革のための部署が開設されています。学長、教授や講師もこのプロセスに積極的に参加し、新しい先進的な教授法を導入しなければなりません。

来年、大学の学生向けの有利な教育ローンのために拠出される財源が倍増され、総額で1兆7,000億スムになります。

今年は科学とイノベーションの発展のために1兆5,000億スムが拠出されました。これは2017年のほぼ6倍増に相当します。それと同時に教員の給料も4.5倍に増額されました。これによって、ナノテクノロジー、バイオテクノロジー、デジタル地質学といった18の新しい科学分野を立ち上げることができました。

来年は科学とイノベーションの発展のために1兆8,000億スムが拠出される予定です。現在、我々は水資源やエネルギー資源の節約、土壌の肥沃度、地質、産業や建設など、我々にとって重要な分野について、科学者からの具体的な成果を待っているところです。

尊敬する同胞の皆様！

我々は国民のために熟練した、質の高い医療サービスへのアクセスをさらに向上させます。まず、無償で補償される医療サービスの規模が法律で規定されます。

拠出される資金が一人ひとりの患者に行き渡るように、国家医療保険への移行を加速します。このようなシステムを来年にはタシケントで導入し、その後、段階的に他の地域でも導入していきます。

このことと関連して、一つの重要な問題に触れておきましょう。現在、700万人の同胞が様々な慢性病を患っています。

我々はもう6年にもわたって健康的なライフスタイルについて話してきました。しかし、今に至っても保健省はこの分野での体系的な業務を確立できていません。健康的な食事についての勧告は国民に行き渡らず、様々な年齢層の人々を体育に大量動員することも確立されていません。人々の健康的なライフスタイルを確保することこそが医療の基本だというのに。

これと関連して、我々は新たに全国民運動「**正しい食事と健康的なライフスタイル**」を立ち上げ、マハリヤから開始していきます。その中で同胞の一人ひとりが年齢に関係なく、自分の居場所を発見することでしょう。

プライマリーケア（初期治療）を国民に近づける作業を継続していきます。今後2年間でそれぞれのファミリー向け診療所や医院には必要な機械設備や備品が提供され、スピード検査ラボは全面的にリニューアルされる予定です。

来年には、さらに140カ所のファミリー向け診療所やクリニックが開設され、アクセスが困難で、遠隔地にある520のマハリヤにはコンパクトな医療救護所が設けられます。

これと並行して、大規模母子保健3カ年プログラムが開始されます。すべての出産施設が全面的に改修され、設備も整えられる予定であり、ベッドの数も35%増床されます。

国内のおよそ1万5,000人の癌患者が放射線治療を必要としています。そのため、来年には官民パートナーシップにもとづいてサマルカンド、フェルガナ、ホレズムでも放射線センター開設プロジェクトを立ち上げます。

尊敬する合同会議出席者の皆様！

よく知られているように、マハリヤは我々のすべての改革の鏡であり、基盤であります。社会で起こっているすべてのプロセスはマハリヤの日常に反映されており、ここで実践されています。

マハリヤそれは平和と安寧、和合と相互理解、啓蒙と養育の基盤であります。

したがって、今後、国家投資計画はマハリヤごとに立案されることになります。

2023年には、国民が主導した、水道水や電力の供給、道路インフラ、学校などの分野に係わるプロジェクトの実施に対してほぼ3倍、すなわち8兆スムの資金が拠出されます。

それぞれのマハリヤには図書館や運動場が設けられなければなりません。マハリヤが自主的に自らの問題を解決できるよう、「マハリヤ予算」システムが導入されます。そのために新年1月1日から、財産税と土地税の納付金の一部をマハリヤに残すことになっています。

国民一人ひとりに充実した生活と住宅を確保することに関する新しい条文を憲法に盛り込むことが必要であると考えます。

新しい住宅の建設規模は1.5倍増で、集合住宅と一戸建て住宅9万戸分に達します。そして、2年前に開始された優遇住宅ローンプログラムが継続されます。

それとともに、来年、タシケント州では新しい住宅ローンプログラム「私の最初の家」が開始されます。それにもとづいて、第一に、住宅を必要としている若い家族のために最大限に有利な条件で住宅を建設することになっています。

そのほか、公共交通の分野でも状況は一変します。タシケント市のために新たに1,000台の最新型のバスが調達され、地下鉄の地上駅7駅が開設されます。こうして、50万人以上の首都の住民や訪問客にとって、日常の移動に際しての利便性がさらに向上します。

旅客輸送の質を向上させるために、地域でもさらに1,000台のバスの運行が予定されています。そのおかげで、現在、公共交通の問題を抱えている300のマハリヤの100万人の住民の利便性がさらに向上します。

第3の分野。人権と自由を確固として擁護することを国家の憲法上の義務として規定する必要があります。

最近の数年間において法律および司法制度における公正を確立するために膨大な作業を実行しました。それと同時に公正な司法を担保するという点においては、解決すべき問題があります。残念ながら、取り調べ

の質の低さ、裁判所における事務の停滞、判決の不執行事案がまだまだ見受けられます。

これは、最高裁判所長官や検事総長が率先して取り組むべき課題です。

国の費用で提供される弁護士の電子選定システムが未だに導入されないのはなぜでしょうか？ 誰がこれに反対しているのでしょうか？

我々はこの問題を特別な管理下に置き、年末までにこのシステムが完全に機能するようにならなければなりません。

法秩序機関に新しいやり方で業務を行うよう教え、司法実施の質を高めることができる体制を短期間で構築いたします。この問題については、別途の大統領令に署名します。

何よりもまず、地方で、人々があちらこちらの裁判所に出向かざるを得ないような事態が解消されるでしょう。そのために、州裁判所の権限と、公正な判決や決定の採択に対する責任を強化します。

捜査、電話の傍受、財産の差押えに対する認可権限は検察庁から裁判所に移管されます。今後は、取調官は犯罪の証拠にするという名目で財産を差し押さえることができなくなります。私有財産不可侵性の強化は形だけのことではないのですから。

今後、所有権の制限に係わる行為は裁判所を介してのみ行われることになります。

我々は取調べの質を向上させる体系的な対策も講じます。取調べは人を弾劾するためではなく、犯罪の解明を通して真実を明らかにするために行われるべきものです。

裁判所における事件の審理に参加するための検察団が結成されます。検察団は特別な訓練を受け、法廷審理の過程における彼らの公正と独立性に関する要件を法律で定めることとなります。

裁判を実施する際の弁護人の権利も見直すことになっており、弁護人には、不足している権限が付与されます。

なぜ弁護士には刑事事件の着手や終了に関する決定の写しが渡されないのでしょうか？ このような状態で平等について何を語ればいいのか？

今後は、裁判所は起訴状だけでなく、弁護人の意見も添えて刑事事件を受理することになります。

被告人が弁護士を忌避する場合、個々の事案について検察官と裁判所が慎重に検討するシステムが導入されます。

最近、一部の臨時収容施設で人権侵害に係わる重大な問題が発生しています。我が国では、このようなケースは到底容認できません。この規則にしたがわない者は、法治主義というものがあり、懲罰が避けられないことを身に染みて思い知るべきです。

これと関連して、そのような場所に送られてきたすべての人のオンライン登録システムを導入し、顔認識装置を設置することになっています。

何人たりとも、法の要求と人権が我々にとって至高の価値であることを忘れてはなりません。

検事総長と内務大臣はこの真実を職員一人ひとりに知らしめ、実効性のある管理体制を敷かねばなりません。

外国の先進的な経験にもとづき、我々は行政裁判所の活動を新しいレベルに引き上げます。行政裁判機関には、ホキム（市長・区長）の決定への不同意に関する提訴について、治外法権的な手続きで事件を審理する原則が導入されます。

大臣もホキムも、一つの真実をはっきりと理解しなければなりません：**ウズベキスタンでは所有物と投資**

の庇護者となるのは、どこかのホキムあるいは大臣ではなく、憲法と法律と裁判所のみである、と。

この方向では、ウズベキスタンに国際商事裁判所を開設するための実務的な作業がすでに始まっております。先に述べた新しい試みは直接、憲法に明記されねばなりません。

我々にとって切実な汚職の問題について、特に触れておきたいと思います。

最近の2年間で約5,000名の役職者が汚職事件で責任を追及されました。しかし、はっきり言って、これは結果との闘いであって、原因との闘いではありません。

下院議員、上院議員、政党、地方のケンガシュ（議会）の皆さんにとって、警鐘を鳴らし、具体的な分野での分析を行い、汚職の根絶に積極的に取り組むべき時機に来たのではないのでしょうか？

一人ひとりの議員が毎月、自分の選挙区内で、公的な予算による施設や道路の建設工事を視察し、発注者や請負業者に作業の質を要求したならば、状況がどれほど変わるか、考えてください。皆さんにはそのための十分な権限や力があります。

汚職と闘うために、特別な法律が採択され、法的基盤が構築されました。今は実務的な作業を強化する必要があります。人為的な独占、閉ざされた回路、汚職全般を可能にしている、あらゆる抜け穴が排除されるでしょう。

第4の分野。 現在、環境問題、とりわけ、水資源の問題は地球的な規模になりつつあります。我々は今日のことだけでなく、未来の世代のことも考えなければなりません。したがって、憲法では貯水池や地下を含む天然資源の保護に対する要求を強化する必要があります。

ご存じのように、最近の3年間に、我が国では渇水が観察されています。その影響は特にアムダリヤ川の下流地域で感じられます。

このことから、アムダリヤ川流域に新しい運河を建設することについて、隣国のアフガニスタン臨時政府や国際社会との間で、国際基準や地域内のすべての国々の利益を考慮しながら、実務的な対話を開始する必要がありますと考えます。このようなアプローチは我々の隣人たちからも支持されるものと確信しています。

最近の15年間で総降水量は25%減少しました。夏には異常に暑い日が多くなっています。このことは今後さらに厳しい試練が待ち受けていることを示しています。現在、耕地の灌漑に際しては多大な損失が見られます。そのため、水資源管理体制は抜本的な改革を迫られています。

第一に、透明性の高い水量計算システムが導入され、今後3年間で約1万3,000箇所の水利施設のデジタル化が進められます。それとともに、官民パートナーシップにもとづいて、16の大型ポンプステーションが近代化され、代替エネルギーに転換されます。

そのため、水資源利用税の税収の一部を、地区の灌漑事業の発展と灌漑用水堀や運河のコンクリート打ちの追加費用に充てることになっています。

現在、ウズベキスタンでも、全世界と同様に、深刻な環境問題が発生しています。その中でも、多くの地域で土壌の質の低下、肥沃な土壌の減少、荒廃、水不足、旱魃が見られ、住民に清浄な飲料水を確保する問題も切実です。

自然を大切に、清浄な水、空気、環境を維持することは、それぞれのマハリヤ住民にとって切実な関心事とならなければなりません。事態を好転させるにはエコロジーや環境保護の分野での自分の努力、特に、**全国的な規模の「ヤシル・マコン（緑の空間）」プロジェクト**の一環としての作業を活発化する必要があります。

尊敬する国民の選良の皆様！

我々は農業における改革を断固として継続していきます。

土地関係についても膨大な作業が進められており、農業の発展のために10万ヘクタールの作付面積が40万人の農民に譲渡されました。最も重要なことは、このおかげで新たに150万tの食用作物が栽培され、120万人以上の村民が仕事と収入を得ることができたことです。

我々がこの改革を行わなければ、市場や店舗が、今のように、商品であふれるような状態になったでしょうか？ 我が国の輸出が現在のレベルになったでしょうか？ 国民一人当たりの収入が増えたでしょうか？

そこで、2023年に我々は作付面積にして10万ヘクタールの灌漑用地を新たに住民に譲渡します。これによって約35万軒の新しい農家が誕生します。

もし我々が75万軒の新しい農家を企業活動の主体、真の土地所有者に変えることができるならば、失業や貧困を始めとする、農村における社会問題の多くは解決できます。私はそう確信しています。

州や地区のホキムはこうした作業の効率的な実施に責任を負っており、住民に対して定期的に報告しなければなりません。我々は協同組合を支援し、農産物の保存、選別、加工を行う中小工場のインフラを発展させる予定です。

2023年には、農業部門に高付加価値チェーンを構築するためのプロジェクトに総額で10億ドルが割り当てられます。

第5の分野。 自由市場メカニズムの導入、健全な競争と私有財産の不可侵性の保証、企業活動の支援は憲法において特別の位置を占めるべきです。

皆さんは世界で起こっている不穏なプロセスについてよくご存じです。地政学的な状況が複雑化し、エネルギー資源の不足が深刻化し、食料の需要が高まり、金融資源が高騰しています。

このような条件の下で、それがいかに困難であろうとも、我々は断固として経済改革を続行し、国内の能力を全面的に動員しながら、民間部門の支援を増強するつもりです。そして、何よりもまず、ビジネス環境のさらなる改善に向けた改革を加速します。

まず、地域間での経済格差の是正や、すべての地区と都市の均衡のとれた発展に向けて新しいアプローチを導入します。

我々は詳細な分析を行いました。来年からすべての地区や都市は、現有の諸条件、潜在力、可能性の観点から、5つのカテゴリーに分類されます。例えば、企業活動の面で総合的に発展した26地区は第1カテゴリーに、良好なインフラを有する46の地区は第2カテゴリーに、比較的満足すべき条件を備えた76の地区は第3カテゴリーに、ビジネスにとって魅力に欠ける40地区は第4カテゴリーに、困難な条件を有する20地区は第5カテゴリーに分類されます。

今後は地区の経済発展の方針はカテゴリーに応じて定めることとなります。

具体的なカテゴリーに応じて、企業家には助成金、貸付金や補償金が拠出されます。税率も同じく差異化されます。

例えば、第5カテゴリーに相当する、困難な条件を有する20地区に対しては、取引税、利潤税、社会税の税率を1%に設定します。つまり、これらの地区では企業家は土地税や資産税として算定された金額の1%のみを納付することになります。一方、個人事業主は均等税の納付を免除されます。

同様に、他のカテゴリーの地区でも、貸付金に対する低金利やインフラの費用に対する国の補償など、多くの優遇措置が提供されます。

我々は国庫歳出や国民と企業家に対する我々の義務を削減することなく、ビジネスの税負担を軽減するための作業を続行します。特に、1月1日から付加価値税率を15%から12%に引き下げることで、少なくとも年間14兆スムを企業家が自由に使えるようになります。しかし、ビジネス環境の改善のためには税負担の軽減だけでは不十分です。

アンケートを実施したところ、企業家の70%が、税務機関や関税機関、ホキミヤート（地方行政機関）、エネルギー供給、土地台帳、防火安全、衛生監督などの管轄官庁で行政圧力を感じると語っています。したがって、2023年には監督機関、許認可機関の活動をあらためて批判的に検証する必要があります。

まず、先進的な経験にもとづいて、税務・関税行政を抜本的に改革します。それに際しては、すべての国家機関に、企業家へのサービス提供の質を評価するシステムを導入します。来年、我々はこの問題に本格的に取り組めます。

我々は企業活動分野における罰則をさらに緩和するために開始した改革を加速させると強調しておきます。

親愛なる友人の皆様！

国民も、企業家も、投資家も、我が国にとって重要なエネルギー問題の具体的な解決策を政府に期待していることはわかっています。

この分野で問題が発生したのは昨日今日のことでないと認めざるを得ません。

長年にわたって新しいガス鉦床の探鉦に投資されなかったり、電力網やガス網が近代化されなかったりしたことも事実です。実際に計量がなされていなかった結果、多額の損失が常態化してしまいました。

それとともに、最近の6年間で我が国の人口は13%増加し、工業企業の数も4万5,000社から10万社へと倍増しました。それに伴って、電力需要も最低でも35%増加し、年々増加を続けています。

経済が持続可能な発展を続けるためには、エネルギー産業に250億～300億ドルを投資する必要があります。これを実現するにはエネルギー産業に民間投資を誘致するしかありません。

最近の3年間でこの分野に80億ドルの直接投資が行われました。特に、先週にはブハラ州、ナマンガ州、ホレズム州に総出力500MWの太陽光発電所を新たに3カ所建設することに係わる入札手続きが行われました。尊敬する下院議員、上院議員の皆さん、この件の法的根拠となったのは、皆さんが採択した法律です。

年頭から我々は総出力1,500MWの発電所を7つ始動させました。来年には出力4,500MWの11件の大型プロジェクトが完成します。特に、ブハラ州、ジザク州、カシュカダリヤ州、ナヴォイ州、サマルカンド州、フェルガナ州、タシケント州には新たに140億キロワットの電力を生み出す太陽光発電所と風力発電所を建設することになっています。これによって家庭への電力供給は50%増加します。

多くのエコノミストが、電力部門で自由市場関係に移行することを提案していると率直に申し上げておかげばなりません。

これは正しい方法です。私もこのアプローチの支持者です。しかし、我々は国民の実質所得水準を考慮し、人々の社会的保護の確保について考え、この分野での改革をバランスよく、段階的に実行しなければなりません。

最も重要なことは、エネルギー資源を効率的に利用することです。残念ながら、我が国の経済ではエネルギーは他の国々よりも2倍多く消費されています。そこで、我々はエネルギー効率向上国家プログラムを採択します。下院議員や上院議員の皆さんがこの作業に率先して取り組めば、めざましい成果を上げることは疑いありません。

家庭や職場、幼稚園や学校、屋外で電力を節約することを人々に教えなければなりません。このことを法律に明記する必要があります。

それと同時に、再生可能エネルギーで稼働する小規模発電所の利用が大幅に拡大するでしょう。例えば、アルマリク・コンビナート、ベカバド・コンビナート、その他のタシケント州内の大手企業で出力1,000MWの太陽光発電所を設置することにより、自家使用のための年間25億kWhの電力を生み出すことが可能になります。これによってタシケント州の電力需要のほぼ30%をカバーし、5億m³のガスを節約できることとなります。

このようにして、他の州も来年に向けて試算を行い、具体的な計画を策定しなければなりません。

共和国内の各地区や各市のホキムも、再生可能エネルギーを用いる総出力5～10MWの設備を家庭や企業で利用するプロジェクトを実施しなければなりません。

我々が努力して、全力を尽くせば、この仕事は必ずやそれ相応の成果を上げることができます。今後の3年間ですべての国家機関に太陽光パネルと温水器が設置されます。そのために20億ドルの投資が誘致されます。これによって電力とガス消費の60%が「グリーンエネルギー」に転換されます。

家庭向けには、太陽光パネルの設置に割り当てられる助成金の金額が2倍に増額されます。

全般的には、我々が「グリーン」エネルギーへの移行を加速させることなく、対応する明確な仕組みを法律に明記しなければ、国民や企業家のニーズを満たすことはできません。

天然ガスの埋蔵量を増やすために、地質探査作業10カ年計画を採択します。こうして、新しい技術を導入することによって、初めて深い地層の開発に着手できます。特に、ウスチュルトの将来有望な深い地層の探査のために、経験豊富な外国人投資家を誘致します。

以前にガス採掘のために発行されたライセンスをすべて見直します。非効率的な運営を行っている企業に対しては適切な対策を講じます。

第6の分野。我々は今後も経済への民間地方投資と外国投資を増やすための条件を改善していきます。

最近の6年間で我々は投資の流入をGDPの30%を超えるレベルまで拡大することができました。

来年には約300億ドルの投資を誘致しますが、その内の250億ドルが民間投資です。その投資を活用して総額80億ドルにのぼる300件以上のプロジェクトを立ち上げ、さらに40件の新しい大型プロジェクトを開始します。

こうして、「ヨシリク」銅鉱床の第一期開発作業が完了する見込みで、鉱石処理能力6,000万tの第3銅選鉱工場が操業を開始します。これによってアルマリク鉱石加工コンビナートの能力は現在の4,000万tから1億tに増強されます。

アルマリクでも銅選鉱工場と銅精錬工場のプロジェクトが始動します。

ナヴォイ州の「ピスタリ」鉱床では処理能力400万tの金鉱石加工複合体の建設工事が完了します。

冶金工業における我々の大規模プロジェクトによって、今後の5年間で銅の生産量が3倍になり、金の生産量は年間150tまで増加します。

同じく、化学工業、自動車産業、農業機械製作工業でも大型プロジェクトが始動します。

それと同時に、積極的な投資を誘致するには、民営化や官民パートナーシップの可能性を十全かつ効果的に活用する必要があります。

来年、我々は大規模な民営化に着手し、およそ1,000社の企業が売却されます。

我々の目的は、同胞の中から数十万人のオーナーや株主が出現することです。ウズベキスタン国民は自分の貯金を投資して、高収入を得ることができるはずで

そこで、私は、来年、我が国の最大手企業や商業銀行10社の株式を、我が国の国民なら誰でも参加できる公開かつ透明な入札にかけるよう指示しました。

これが本当の国民的IPO（新規公開株）になると確信いたします。

ここで、「もし国民が豊かであれば、国も豊かで強くなる」とあらためて述べるのが適切だと考えます。

次に、完成品の輸出を40億ドル増やすことが2023年の我々の主要課題になるという点についてです。

今年からスタートした「新しいウズベキスタン—競争力ある製品の国」プログラムが実を結びつつあります。1年間で約2,000社が初めて国外市場に進出しました。来年も輸出企業に対する輸送費やその他の経費を補償する事業が続けられます。

我々は繊維、電化製品、革製履物、その他の完成品の欧州市場への供給量を少なくとも2倍に増加させる予定です。製品を輸出する際の現行の9段階の税関手続きを3分の1に短縮します。

世界貿易機関（WTO）への加盟に関する主な交渉が終了した後、我々は国内法の調整や新しい規格の導入に係わる作業を加速させます。

全体として、2023年の輸出額は我が国史上初めて230億ドルを超えるでしょう。

尊敬する下院議員、上院議員の皆様！

現在の困難な世界情勢において、我々は相互の信頼と尊敬にもとづく、開かれた実務的な外交政策を一貫して継続してまいります。

今後も、我々はすべての中央アジア諸国、さらに我々の戦略的パートナー諸国や国際機関との間で多面的で互恵的な協力関係を強化することに焦点を当てていくつもりです。

我々は国家の安全保障と軍隊の戦闘能力の向上に係わる作業を新たなレベルに引き上げます。

これと関連して、私は下院議員と上院議員、マハリヤ、退役軍人・女性・青年組織の活動家、そして、すべての国民の皆さんに申し上げたい：我々は我々の平和で穏やかな生活をかけがえのない至高の財産として大切にし、それを我々の家族、子供たち、次の世代の幸福と未来のために守っていかねばなりません。

そのために、我々は青少年の軍事・愛国教育をより一層重視いたします。

子供たちと若者たちが祖国に一途に忠誠を捧げ、調和のとれた成熟した人間として成長するように、彼らの教育においては、我々の尊敬する先輩世代を頼りにしております。

我々の尊敬すべき退役軍人にとって、保養所では健康増進のために、マハリヤや公共の場所では彼らの生活がさらに充実して内容豊かであるように、付随的な条件を整備する作業を継続してまいります。

この恵み豊かな大地に暮らし、民族、言語や信仰に関係なく、ウズベキスタンを自分の祖国と見なし、その発展に寄与する人は誰でも、今後とも国家と社会の関心と配慮に含まれることでしょう。

我々は全精力と可能性を総動員して、社会における諸民族間の友好と異なる信仰間の和合、善意と寛容の雰囲気をもさらに強化いたします。

急進主義、過激主義、テロリズム、人身売買、麻薬中毒といった、全世界で強まる脅威は残念ながら我々の国を素通りしてはくれません。しかし、もう一度繰り返します。偉大なるウラマー（イスラムの指導者）であるブハーリー師（イマーム）、ティルミズィー師、マートゥリーディー師を育てた我々の大地に、正しい道から外れて、急進主義や過激主義思想の信奉者となった者がいてはならないのです。

我々は我々の社会におけるいかなる急進主義の台頭も、我々の若者たちの意識に対する異質で破壊的な思想の否定的な作用も、政治目的での宗教の利用も、啓蒙のかわりに暗愚を是認することも容認できません

ん。そのためには、責任ある組織だけでなく、我々が全員一丸となって、家庭、マハリヤ、教育機関において、我々の神聖な宗教の人道的な本質を国民に知らしめ、若者たちを民族的で全人類的な価値の精神で教育することに向けて効率的な作業を行わなければなりません。

この分野において我々は別途民族プログラムを採択します。

我々の社会の精神的・道徳的基盤の強化、文化領域の発展、科学および創造的団体の活動の支援も優先的な課題になります。

我々は自分たちの古い歴史、特に、きわめて困難な状況において、啓蒙思想、人間と民衆の自由、祖国と民族的な価値への献身を果敢に訴えたジャディードたちのことをもっと深く探究しなければなりません。偉大な目的を目指した彼らの勇敢で献身的な闘争は、新しいウズベキスタンの建設において、我々全員にとって、特に若者にとって立派な模範となるものです。

現在、世界的に有名なフランスのルーブル美術館で開催されているウズベキスタン民族展は、我々の民族のユニークな歴史的遺産、豊穡な文化と伝統に対する外国の関心がいかに高いものであるかを明らかにしました。我が国の青少年や外国人観光客に我々の大地の比類ない歴史的・文化的遺産をさらに幅広く紹介するとともに、現代的な要求にもとづく美術館の発展に関する個別のプログラムが実施される予定です。

尊敬する同胞の皆様！

我々は皆さんと2023年における大きな目標と課題を設定しました。言うまでもなく、今日の厳しい世界情勢の中でこれらの課題を実行することは容易ではありません。しかし、これまでの期間で我々は多くの知識と経験を蓄えてきました。最も重要なことは、自らの力と可能性に対する自信が深まっていることです。

いかに困難であろうとも、我々は決して選んだ道から逸れることなく、設定された目標を必ずや達成いたします。この点で我々にとっての堅固な支えとなったのは、純粋な考えと大志を抱いて生きる我々の勤勉な国民であります。

もし我々が一致団結して取り組むならば、我々国民の夢である、新しいウズベキスタンの建設が必ずや実現するものと確信しております。

我々が進めている改革を全面的に支援し、あらゆる困難と試練を不屈の精神で克服し、献身的な働きで祖国の発展と繁栄に計り知れない貢献を捧げる、我々の勇敢で、気高く、心の広い国民に深く首を垂れるものであります。

すべての皆様、全国民の皆様に心から来るべき新年のお祝いを申し上げます。健康と幸福と息災をお祈りいたします。我々の国に常に平和と安寧がありますように！

至高至善なる者が常に我々の素晴らしい大地、我々の祖国ウズベキスタンを守護されんことを！